

# 《 地獄に通じる門 》

……クイーン・E・ディクソンの驚くべき体験……

クイーン・E・ディクソン 2007年3月25日

(Copyright © www.tengokujigoku.info)

2007年3月25日、快晴の日曜日の午後二時三十五分、私は友人の手伝いを終えて帰宅し、昼寝をしようとベッドで横になりました。私はベッドの左側に寝ていましたが、突然、ベッドの右側が波のようにうねり出しました。私はベッドが動いていると感じたのではなく、それが動いているのが見えただけです。

私は新しく生まれ変わっているクリスチャンであり、こういう事態が生じた時はイエス様の御名を呼び求めるべきことを知っていますので、ベッドの上でイエス様の血を唱え始めました。

ところが、その時、衝撃的なことが起こったのです!!

**私はベッドの背後の床の上に立っていました!** 私は自分がそこに立って、こう自問したのを覚えています。

「私はどうやって起きて、ここにいるのかしら? 私のベッドに寝ているこの女性はだれなの? それに、なぜ私のベッドは、こうしてうねり続けているのかしら?」

それから私は自分の体を見下ろしたのです。私はほっそりしていて美しかったのですが、裸でした!

私が特に覚えているのは、**永遠の世界には時間がない**ということです。全くないのです! この現実の世界では私たちは時間に支配されていますが、霊の領域では時間の支配というものが全くないのです。私がさらに覚えているのは、どんな思考やコミュニケーションも思うことによって伝えられ、それを受け取る人は、相手が言っていることをすぐに受け取り、そうやってやりとりをするということです。口は必要ありませんでした!

それから私は自分のアパートの部屋から連れ出され、**大きな部屋**の中にいました。その部屋には、**皮膚の色や姿も大きさもさまざま、あらゆる国の人々が立っていました**。みんな、とても明るい白色の服を着ていました。私は、これは聖徒たちの部屋だと思いました。

しかし、すぐに私は、目に見えない霊の案内者（彼が私のそばに立っていることを私は知っていました）から、その白い長服を着ている人たちは、**自分ではキリスト教を信じていると言っているながら心の中に悪を持ち続けている者たち**であると告げられました。そこには**おびただしい数の人々がいました!!!**

突然、チョコレートが熱で溶けるように、**彼らの肉が彼らの体からはがれ落ちる**のが見えました。肉は、これらの人々の体からはがれて床の上に落ちました。私はびっくりして黙ったまま、じっとそこに立っていました。私は、これらの人々は自分はキリスト

教を信じていると言っている心の中に悪を持ち続けているゆえ、**地獄への途上**にいると告げられました。

それから私は携え挙げられ、永遠の世界へ連れて行かれました。起こったことは、次の通りです。

私は空の高い所の、永遠の世界の中のどこかにいました。そして、状景を見下ろしていました。

**一人の女性**がいました。彼女は私と同じ肌色をしていて、ベッドの上で裸であおむけに横たわっていました。黒と白の色の、ずだずだの布が、彼女の首の周りにぶら下がっていました。彼女は両ひじで起きて、自分の前の何かをしっかりと見つめました。彼女のそばに、何か大きな存在が立っていました。私にはそれは見えませんでした。『ものすごく強力な者』がそこにいるとわかりました！

その光景全体の上は一つの天蓋となっており、その天蓋は神の霊でした。

この女性が横たわっていたベッドの表面は平らでしたが、そのベッドの下に**じょうご**があり、このじょうごの内部には大きなつむじ風があり、それがこのじょうご形を保っていました。

それから、突然、私は下って自分の体の中に入りました。今や私はそこに横たわっていました。私は自分の前で起こったことを見て、しくしく泣きながら全き畏れの中にいました。

突然、一つの大きな円が私の前に現れました。その円は二階建ての家ほどの大きさにまでなりました。そして、この円の内側に、平らな褐色の表面が現れました。それは扉のような動きをしました。

この平らな褐色の表面上に、**ことば**が現れました。ヘブル語に似た外国語でした。私はその言語は知りませんでしたが、そのことばが言っていることは理解できました。こう書かれていました。

## 『地獄に通じる門』 !!!!!!!!!!!

それらの門が開き始めました。…すると、**火**が見えました。**青色と黄色と赤色の炎**でした。私は、私が見ている炎は地上の火より20000倍も熱く、この火は硫黄で燃やされていると告げられました。

それから、**暗闇**が見えました。この地上では昼間は太陽が輝き、夜は月が照らしていますが、地獄にあるような暗闇は存在していません。**その暗闇は生きていて、本物の悪もいるのです!!!!!!!!!!!!!!**

私がこの火の中へ投げ込まれそうになった時、突然、私は自分の体の中に戻りました。私が地上の自分の体の中に入って横たわると、体が重いを感じました。というのも、霊は肉も血もないので自由であり、全く完全に自由なのです。しかし、私はこの地上で横たわりました。

代々永遠の**神**が私にじかに話しかけられました。…彼が私に言われたことは、次の通りです。ただ、彼が『**怒っておられた**』ということを書かせていただきます。

彼が語られた時、彼の声は大きな震動のように私の骨を貫通しました!!! 私はただそこに横たわり、私の主が語られるのを聞くことしかできませんでした。

彼はこう言われました。

「これが、あらゆる罪の結末なのです。もしあなたが心を尽くして私に仕えなければ、私はあなたを他の人々を救うために用いても、あなたは死んで地獄に行くことになります」

「もしあなたが心を尽くして私に仕えていないなら、あなたは私に少しも仕えてはいないのです」

それから万軍の主は、いっそうお怒りになり、こう言われました。

「十分の一献金と献げ物は、命令です。こうして私のことばは宣べ伝えられています、これが私の諸教会をまかなうものなのです!!!!」

主は言われました。

「あなたは行って、彼らに告げなさい。…清さがなければ、だれ一人私の国に入ることとはできないのです!!!」

主は私に、聖書の中にある通りに、こう言われました。

「私が聖であるように、あなたがたは聖なるものとなりなさい!!!!」

まさにこのことによって私は永遠に変わったのです。この体験をする前、私は半分だけ聖い生活をしていました。しかし、もはやそうではありません。現在、私は天国への途上にいます。私は、あの不快きわまる場所に戻りたいとは決して思いません。主は、彼のみことばの、混ぜ物のない真理を宣べ伝えるために私を用いようとしておられることも私に語られました。すなわち、うわべを砂糖で覆ったものではありません。安易なものではありません。まさに聖霊の大胆さによってです。まさにそれゆえに私は生まれたのです。彼は私に、人々が聞きたがらないことを人々に語る大胆さを与えてくださいました。

イエス・キリストにあっては、全部が無かなのです。それ以外のどんなものも不十分なのです。すべてが無かです。あなたの全部があるか、それとも、あなたの何もないか、そのどちらかなのです!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!

イエス・キリストが私の主であられ、私の神また私の王であられるゆえ、この記録は真実で本当のことであり、私自身にとって、知恵の初めでもあります。

神のことばは、箴言で、「神を恐れ敬うことが、知恵の初めである」と言っています。

私は現在、彼を恐れ敬っており、これまで一度もしたことの無いほどに、代々永遠の神に全き敬意を払っています。

Copyright c. 天国と地獄の情報 <http://www.tengokujigoku.info/>

● ホームページ『天国と地獄の情報』 (<http://www.tengokujigoku.info/>) から、  
《 救いを受け取るための祈り 》 《 神はどのようなお方か? 》 《 罪とは何か? 》  
《 どうすれば天国に入れてもらえるのか? 》 《 地獄に行かず天国に行く人の生活 》  
をお読み下さい。